
HS7 ユーザーマニュアル

リリース v1.0.0

2026-06-27

目次

1 システム設定	4
1.1 ファームウェアバージョンの読み取り	4
1.2 工場出荷時設定にリセット	4
1.3 作業モード	5
2 電源管理	6
2.1 睡眠時間を読む	6
2.2 睡眠時間を設定する	6
2.3 コード読み取りデバイスのバッテリー残量を取得する	8
3 情報プロンプト	8
3.1 ブザー制御	8
3.2 振動モーター制御	9
3.3 ブザー音の定義	10
3.4 インジケータライトの定義	10
4 有線モード	11
4.1 USB 送信方法	11
4.2 USB キーボードの送信速度	12
4.3 USB HID マルチキー送信設定	13
5 ワイヤレスモード	13
5.1 インターフェイス設定の読み取り	13
5.2 無線伝送方式	14
5.3 2.4G ペアリング	14
5.4 受信機の動作モード	14
5.5 2.4G 送信キャッシュ	16
6 藍牙モード	17
6.1 インターフェイス設定の読み取り	17
6.2 藍牙送信方法	17
6.3 藍牙動作モード	18
6.4 藍牙名の変更	18
6.5 藍牙 HID ペアリングをクリアする	19
6.6 システムキーボードの機能	19
6.7 藍牙と 2.4G を 8 秒間押し続けると切り替わります。	20
6.8 藍牙キーボードの送信速度	20
6.9 藍牙接続ステータスがスリープ設定にならない	21
7 キーボード設定	22
7.1 HID Keyboard General Setting	22
7.2 キーボードの言語設定	29
8 キーボード言語	29
8.1 現在のキーボードレイアウトを読み取る	29
9 データ編集	35
9.1 標準データ編集設定	35
9.2 拡張データ編集設定	42
9.3 端末文字設定	44

9.4 GS1 AI フィールドブラケット設定	45
10 読書モード	46
10.1 バーコードデコード読み取りモード	46
11 MOD の設定	48
11.1 エンジン出力フォーマット	48
11.2 バーコード設定	49
11.3 エンジンコード表	98
11.4 エンジンキャラクターテーブル	105
11.5 エンジンセッティングコード	108
12 付録	112
12.1 文字検索テーブル	112

1 システム設定

1.1 ファームウェアバージョンの読み取り



ファームウェアバージョンの読み取り

1.2 工場出荷時設定にリセット

注釈

「カスタムデフォルトの書き込み」が実行されている場合、「デフォルトの復元」はそれらのカスタムデフォルトを復元します。それ以外の場合は、工場出荷時のデフォルト値が復元されます。

重要

「工場出荷時のデフォルトに設定」は、すべてのカスタムデフォルトをクリアし、工場出荷時のデフォルトに戻します。



カスタムデフォルトを復元する



カスタムのデフォルト値を書き込む



工場出荷時のデフォルトを設定する

1.3 作業モード

i 注釈

データのアップロードプロセス中に、「データアップロード」コマンドを再度スキャンすると、現在のアップロードはキャンセルまたは停止されます。

i 注釈

無線送信モードで自動保存を有効にすると、送信に失敗したバーコードが自動的に保存され、保存されたデータは「データアップロード」で読み込むことができます。



* 通常モード



ストレージモード



ストレージデータのアップロード



保存されているバーコードの総数を読み取ります



アップロード後にストレージデータをクリアする



ストレージスペースの使用状況を読み取る



保存されたバーコードをクリアする



* 自動ストレージモードが無効になっています



自動ストレージモードが有効になっています

2 電源管理

2.1 睡眠時間を読む



睡眠時間を読む

2.2 睡眠時間を設定する



今すぐ冬眠します



1 分後に寝る



3 分後にスリープ (デフォルト)



5 分後に寝る



10 分後に寝る



30 分後に寝る



1 時間後に寝る



2 時間後に寝る



決して眠らないでください

2.3 コード読み取りデバイスのバッテリー残量を取得する



バッテリー残量を取得する

3 情報プロンプト

3.1 ブザー制御



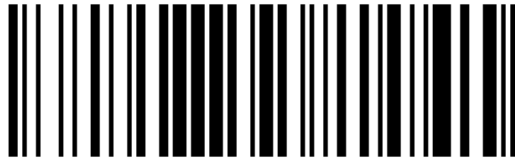
ミュート



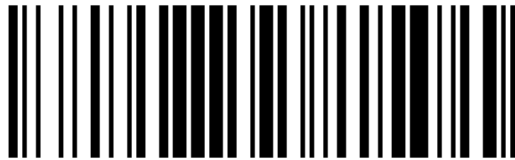
* 大音量



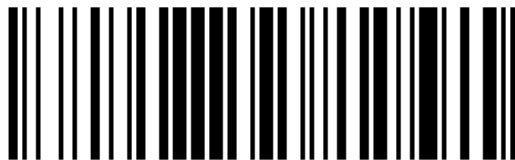
中程度の音量



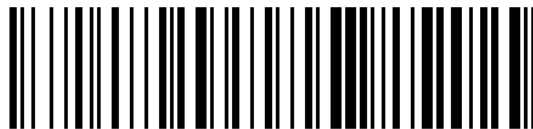
小さい音量



* 高音



低音



* SDK 音声応答が無効になっています



SDK 音声応答の有効化

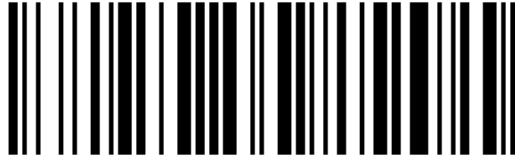


ベース接続ブザープロンプトスイッチ

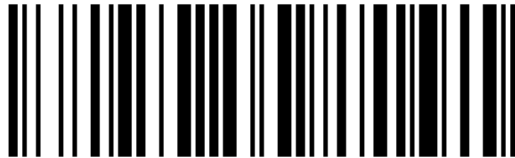
3.2 振動モーター制御

注釈

振動モーターはビープ音とともに動作しますが、すべてのモデルがこの機能をサポートしているわけではありません。



無効にする



有効にする

3.3 ブザー音の定義

タイプ	音	意味	音声ファイル
ビープ	ワントーン（ツートーン）	ストレージモードの読み取り。シャットダウンプロンプト。	storage-mode.m4a、shutdown.m4a
ビープ	1 音（3 音）	電源投入時のプロンプト。設定は成功しました。アップロードモード転送完了プロンプト。	startup.m4a、wireless-setting.m4a
ビープ	短い音（同じ音）	バーコード読み取り成功プロンプト。	one-beeps.m4a
ビープ	30 秒間の連続した短いトーン	2.4G ペアリングモードは、レシーバーが挿入されるのを待ちます。ペアリングが成功すると停止します。	pair2.4G.m4a
アラーム音	2 トーン（同トーン）	読み取り中の電力不足アラーム。	two-beeps.m4a
アラーム音	3 音（同音）	インベントリモードストレージエラーまたはストレージ容量超過アラーム。	three-beeps.m4a
アラーム音	送信失敗音	バーコードの送信が失敗した場合にアラームを鳴らします。	まだ音声がありません
アラーム音	5 音（同音）	バッテリー残量が少ないと起動障害が発生します。	five-beeps.m4a

3.4 インジケータライトの定義

インジケータライト	州
赤信号/緑信号	充電中は赤色のライトが点灯し、緑色のライトが消灯します。完全に充電されると、赤色のライトが消え、緑色のライトが点灯します。
ブルーライト	ブザー動作に続き、ブザーが鳴ると点灯、鳴らないと消灯します。蓝牙モードをサポートするモデルは、蓝牙接続ステータスを示すためにも使用されます。

4 有線モード

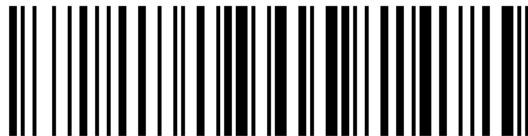
注釈

有線伝送をサポートするコード読み取りデバイスにのみ適用されます。

4.1 USB 送信方法



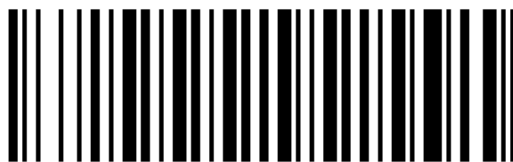
* USB キーボードモード



USB 仮想串口モード

注釈

自動インターフェイス選択を有効にすると、デバイスは有線と無線の間で自動的に切り替わります。USB ケーブルが接続されている場合、有線モードが最初に使用されます。USB ケーブルが接続されていない場合、または USB が利用できない場合、コード読み取りデバイスは 2.4G モードで動作します。一部のモデルではこの機能をサポートしていない場合があります。



* 有線/無線自動選択が有効です



有線/無線自動選択無効

4.2 USB キーボードの送信速度

注釈

この設定は、RF、超長いバーコードの藍牙送信、およびストレージデータのアップロードの速度にも影響します。



* 最高速度



トップスピード



中速



中速



キーボードの読み取り速度



キーボードの読み取り速度

4.3 USB HID マルチキー送信設定

i 注釈

このセクションの設定は、Windows システムにのみ適用されます。



USB HID マルチキー送信有効



* USB HID マルチキー送信は無効です

5 ワイヤレスモード

i 注釈

2.4G 送信をサポートするコード読み取りデバイスにのみ適用されます。

5.1 インターフェイス設定の読み取り



現在のインターフェース設定

5.2 無線伝送方式

注釈

青いライトは常に点灯または点滅し、現在のモードが藍牙であることを示します。青いライトが消えている場合は、現在のモードが 2.4G モードまたは USB 有線モードであることを示します。



2.4G 送信モード

5.3 2.4G ペアリング

重要

ワイヤレス 2.4G モードでのみ有効です。



2.4G ペアリングを開始します



1 対 1 のペアリング



1 対 1 のペアリング

5.4 受信機の動作モード

注釈

コンポジットデバイスモードは、FWVerL 以降の受信機でのみ使用できます。
ReceiverAddress.exe を使用してペアリングバーコードを生成し、それをスキャンしてペアリングを完了することもできます。



複合デバイスとしての受信機



仮想シリアルポートとしてのレシーバー

注釈

このモードでは、仮想シリアルポートドライバをインストールする必要があります。



キーボードとしての受信機

受信機キーボードの通信速度

注釈

このセクションの手順は、FWVerL 以降の受信機にのみ適用されます。コード読み取りデバイスと受信機の送信速度が一致している必要があります。一致しないと、長いバーコードを送信するときにエラーが発生する可能性があります。

重要

このコマンドはワイヤレス 2.4G モードでのみ有効で、受信機は正常に接続されています。



キーボードの読み取り速度

i 例

KB SP=2,4 は、USB のキーボード速度が 2ms、受信機のキーボード速度が 4ms であることを意味します。



レシーバーキーボード高速



レシーバーキーボード中速



レシーバーキーボード低速

i 注釈

無線 2.4G モードでのみ有効で、受信側は正常に受信します。

5.5 2.4G 送信キャッシュ

i 注釈

このコマンドは、この機能をサポートする一部のコード読み取りデバイスにのみ適用されます。設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。

通常のバーコードをスキャンする場合、バーコードのデータ量が多くスキャン間隔が短く、データのアップロードが間に合わない場合に、この設定コードを使用してデータのキャッシュを有効または無効にすることができます。



SRAM キャッシュスイッチ

通常モードでは、データキャッシュを有効にした後、デバイスが一時的に通信距離を離れてオフライン状態になった場合、この設定を使用して、キャッシュされたデータをアップロードする前に接続を待つか、キャッシュされたデータをクリアするかを選択できます。



オフラインキャッシュスイッチ

6 藍牙モード

注釈

藍牙機能を備えた RF+BT コード読み取り装置にのみ適用されます。

6.1 インターフェイス設定の読み取り



現在のインターフェース設定

6.2 藍牙送信方法

注釈

青いライトは常に点灯または点滅し、現在のモードが藍牙であることを示します。青いライトが消えている場合は、現在のモードが 2.4G モードまたは USB 有線モードであることを示します。



藍牙送信

6.3 藍牙動作モード

i 注釈

藍牙モードでのみ有効です。

i 注釈

藍牙動作モードを切り替える前に、ホストとコード読み取りデバイスの両端のペアリング情報をクリアする必要があります。



藍牙 HID キーボード (デフォルト)



藍牙 SPP シリアルポート



藍牙 BLE シリアルポート



藍牙基本送信モード

i 注釈

すでにペアリングされている藍牙ベースとのペアリングに適しています。ベースのバーコードが破損している場合は、小さなツール BluetoothAddress.exe を使用してペアリングバーコードを生成することもできます。

6.4 藍牙名の変更

新しい藍牙名を入力したら、生成された QR コードをスキャンして設定を完了します。ホストが変更後に古いペアリング記録を保存している場合は、まず古いペアリングを削除して、接続を再度検索してください。

6.5 藍牙 HID ペアリングをクリアする

藍牙送信モードで「ペアリングのクリア」をスキャンした後、コード読み取りデバイスは現在ペアリングされているデバイスを切断し、ペアリングリストをクリアしてから、新しいデバイスのペアリングを待ちます。過去にペアリングしたデバイスを削除し、再度ペアリングする必要があります。



藍牙ペアリングをクリアする

6.6 システムキーボードの機能

iOS システムのポップアップキーボード機能



iOS キーボードのポップアップ/非表示



トリガーボタンを 4 秒間長押しすると、iOS キーボードスイッチがポップアップします。



トリガーボタンをダブルクリックして、iOS キーボードスイッチをポップアップ表示します。



送信後に iOS キーボードスイッチをポップアップ表示する

Windows Caps Lock の検出

i 注釈

このコマンドは、一部の藍牙コード読み取りデバイスにのみ適用されます。設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。

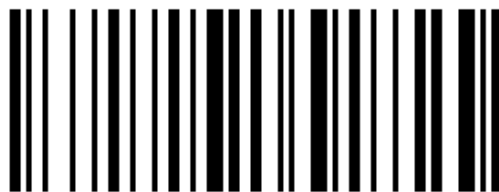


Windows Caps Lock 検出スイッチ

6.7 藍牙と 2.4G を 8 秒間押し続けると切り替わります。

i 注釈

このコマンドは一部の RF+BT コード読み取りデバイス (DS、C、RT) にのみ適用されます。有効にした後、トリガーボタンを 8 秒以上押し続け、放すと RF/BT が切り替わります。16 秒以上押し続けると、コード読み取り装置がシャットダウンし、モードは切り替わりません。設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。

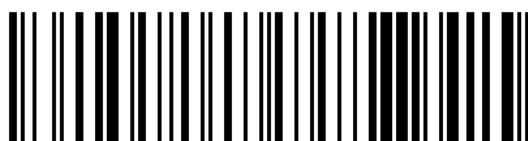


トリガーボタンを 8 秒間押し続けると、RF/BT スイッチが切り替わります。

6.8 藍牙キーボードの送信速度

i 注釈

藍牙モードでのみ有効です。



藍牙 HID 遅延の読み取り



高速 (2ms)



高速 (6ms)



* 中速 (10 ミリ秒)



中速 (18ms)



低速 (25ms)



低速 (30ms)

6.9 藍牙接続ステータスがスリープ設定にならない

注釈

設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。



藍牙接続ステータス非スリープスイッチ

7 キーボード設定

7.1 HID Keyboard General Setting

HID 共通設定

注釈

このセクションの一般的な HID モード設定は、USB キーボード、RF2.4G キーボード、BT HID キーボードに適用されます。

Ctrl キーの組み合わせの設定



* 結合キーオフ



Ctrl+ Key Config1



Alt+ Key Config2



Normal-Key Config3



Ctrl+ Key Config4



Alt+ Key Config5

i 注釈

only for ASCII <0x20 chars, Alt+ key only for Windows system.

ケースの設定



普通



スワップケース



すべて大文字



すべて小文字

※ キーボード言語を ALT、TH に設定した場合、大文字と小文字の設定は適用されません。

Num Lock の設定



Num Lock が無効になりました



Num Lock が有効になりました

※ 受信端末が携帯電話の場合、Num Lock の設定をオフにしておかないと番号が表示されません。

文字セット設定を入力します

i 注釈

この設定は、特定のモジュールの 2D コード読み取りデバイスにのみ適用され、2D モジュールの出力文字セットと一致します。



現在の文字セット設定を読み取る



自動



GBK / BIG5 / HANGUL / SJIS



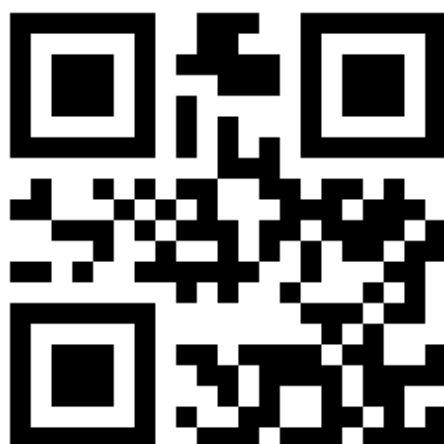
ISO/IEC 8859



UTF8 (ワード)



UTF8 (送信)



ノーマルモード

例証します:

モデル	該当するシナリオ	コード読み取りモジュールの出力文字セット	限界
Auto	入力文字セットを UTF8 または ISO/IEC 8859 として自動的に選択します。Word または Txt 出力は、最後の UTF8 設定に基づいています。	プリミティブ型	なし
GBK	Windows のメモ帳、Excel の中国語入力。	GBK (GB2312) またはオリジナルのタイプ	Windows システムのみに適用されます。
UTF8 (Word)	Word、QQ 中国語入力。	UTF8 またはプリミティブ型	Windows システムのみに適用されます。
ISO/IEC 8859	ヨーロッパのシングルバイト特殊文字 (>= C0H)。FR、GE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK に適しています。	プリミティブ型	リストにない言語はカスタマイズで追加する必要があります。
UTF8 (Txt)	Windows のメモ帳で特殊文字を入力するには、Unicode プラグインをインストールする必要があります。	UTF8 またはプリミティブ型	Windows システムのみに適用されます。
Normal	FR、GE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK キーボードの文字に適した多言語特殊文字。	UTF8 またはプリミティブ型	リストにない言語はカスタマイズで追加する必要があります。

受信デバイスの選択

注釈

このセクションは、さまざまな受信デバイスが ASCII 文字 (0x20 から 0x7F) を入力する方法を設定するために使用され、[鍵盤言語設定](#) と組み合わせて使用 する必要があります。



現在の受信デバイス設定を読み取る



Windows デバイス



iPhone/iPad/Mac デバイス



Android デバイス

*IOS/MAC デバイスは現在有効です: FR、DE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK。ドキュメント「バーコードスキャナー用の MAC iPhone iPad キーボードレイアウト.docx」を参照してください。

※Android 端末には Google Gboard 入力方式を一律にインストールすることを推奨します。「バーコードスキャナー用 Android デバイスのキーボードレイアウト.docx」ドキュメントを参照してください。

7.2 キーボードの言語設定

➡ 参考

キーボード言語設定は別のページ (鍵盤语言设置) に分割されました。

8 キーボード言語

8.1 現在のキーボードレイアウトを読み取る



現在のキーボードレイアウトを読み取る

L1 *ENUSA アメリカ EN キー



* 米国英語キーボード

L2 FR フランスフランス語キー



フランス語フランス語キーボード

L3 DE ドイツドイツキー



ドイツ語ドイツ語キーボード

L4 ITItaly イタリアキー



イタリア語キーボード

L5 PT ポルトガルキー



ポルトガル語キーボード

L6 ES スペインスペインキー



スペイン語キーボード

L7 TR トウルキエトルコキー



トルコ語 Q キーボード



トルコ語 F キーボード

L8 ENUK 英国キー

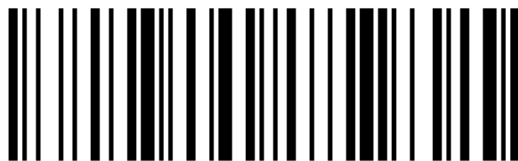


イギリス英語キーボード

L9 CS チェコ語チェコ語キー



チェコ語キーボード



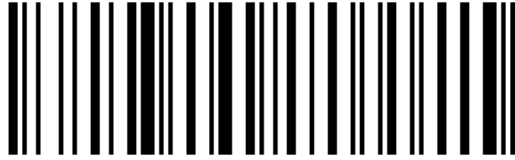
チェコ語の標準キーボード

L10 HU ハンガリーハンガリーキー



ハンガリー語キーボード

L11 FR ベルギー (フランス語) ベルギー FR キー



ベルギーフランス語キーボード

L12 PT ブラジル (ポルトガル語) ブラジル PT キー



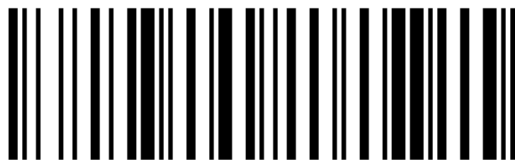
ブラジル系ポルトガル語キーボード

L13 FR カナダ語フランス語 (繁体字) カナダ語 FR キー



カナダフランス語 (繁体字) キーボード

L14 HR クロアチアキー



クロアチア語キーボード

L15 SK スロバキアスロバキアキー



スロバキア語 QWERTY キーボード



スロバキア語キーボード

L16 DA デンマークデンマークキー



デンマーク語キーボード

L17 FINLAND キー



フィンランド語キーボード

L18 ES ラテンアメリカ (スペイン語) ラテンアメリカ ES キー



ラテンアメリカスペイン語キーボード

L19 NL オランダオランダキー



オランダ語キーボード

L20 ノルウェーノルウェーキー



ノルウェー語キーボード

L21 PL ポーランドポーランドキー



ポーランド語キーボード

L22 SR セルビア (ラテン) セルビアキー



セルビア語ラテン語キーボード

L23 SL スロベニアキー



スロベニア語キーボード

L24 SVSweden スウェーデンキー



スウェーデン語キーボード

L25 DE スイス (ドイツ語) スイス DE キー



スイスドイツ語キーボード

L26 JP 日本語日本語キー

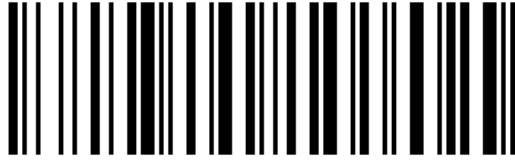


日本語キーボード

L27 TH タイタイキー

注釈

タイ語キーボードを使用する場合、コード読み取りモジュールも TH 出力に設定する必要があります。



タイ語キーボード

🔄 参考

参照ファイル: RF2.4G、藍牙設置 _ 中文、泰語、韓国.docx。

L28 ALT インターナショナルキーボード ALT グローバルキー

i 注釈

ALT インターナショナルキーボードは Windows システムにのみ適用され、ホストのキーボード設定の影響を受けませんが、転送速度が低下します。



ALT インターナショナルキーボード

L29 ALT シングルバイト特殊キーボード ALT シングルバイト特殊キー



ALT 半角特殊文字キーボード

i 注釈

このセクションに記載されていない言語をサポートするにはカスタマイズする必要があります。

9 データ編集

9.1 標準データ編集設定

このセクションでは、設定コードを使用して、プレフィックス、サフィックス、非表示文字などの一般的な出力ルールを設定する方法を説明します。

プレフィックス、サフィックス、隠し文字の設定

最大 10 個のプレフィックスまたは 10 個のサフィックスを出力データに追加できます。設定する場合は、ASCII 値に対応する 2 桁の 16 進数の設定コード (つまり 2 つのバーコード) をスキャンしてください。

➡ 参考

文字値については、[ASCII ファンクションキー文字比較表](#) および [ASCII 文字比較表](#) を参照してください。値の入力が必要なパラメータについては、[デジタル設定コード](#) をスキャンしてください。具体的な手順については、「[プレフィックスまたはサフィックスの追加ステップ](#)」を参照してください。

バーコードの最初、中間、または最後の文字を非表示にするように設定できます。対応する非表示設定コードをスキャンした後、非表示にする文字の長さに対応する 2 桁の 16 進数の設定コードをスキャンします (00 ~ FF、たとえば 4 文字を非表示にする場合は、0、4 を順にスキャンします)。

➡ 参考

文字を非表示にするプロセスについては、[バーコードの最初/中間/末尾の文字を非表示にする手順](#) を参照してください。

オペコード



プレフィックスを追加する



接尾語を追加



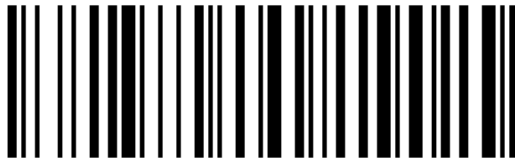
すべてのプレフィックスをクリアする



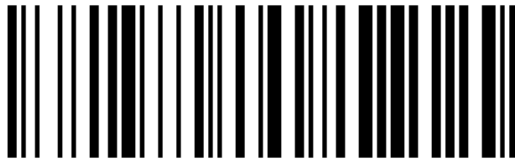
すべてのサフィックスをクリア



最初のバーコードの文字数を非表示にする



バーコード中央の開始桁を非表示にします



バーコードの途中の文字数を非表示にする



バーコードの末尾の文字数を非表示にする

デジタル設定コード

指定値が必要なパラメータについては、対応するデジタル設定コードをスキャンしてください。



デジタル設定コード 0



デジタル設定コード 1



デジタル設定コード 2



デジタル設定コード 3



デジタル設定コード 4



デジタル設定コード 5



デジタル設定コード 6



数値セットアップコード 7



デジタル設定コード 8



数値セットアップコード 9



デジタル設定コード A



デジタル設定コード B



デジタル設定コード C



デジタル設定コード D



デジタル設定コード E



デジタル設定コード F

出力形式の設定

出力データ形式を変更する必要がある場合は、以下の対応する設定コードをスキャンしてください。



デフォルトの出力形式



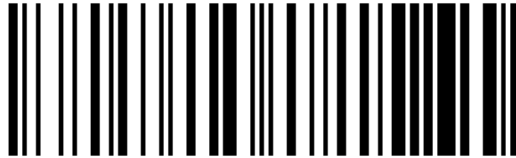
出力サフィックスを許可する



出力プレフィックスを許可する



バーコードヘッダーコンテンツを非表示にすることができます



バーコードの中央のコンテンツを非表示にすることができます



バーコード末尾のコンテンツを非表示にすることができます

手順例

プレフィックスまたはサフィックスの追加ステップ

1. プレフィックスとサフィックスの出力が有効になっていない場合は、まず対応する出力フォーマットコードをスキャンしてください。
2. 新しい文字は既存のサフィックスに追加されます。元のサフィックスを破棄したい場合は、「すべてのプレフィックス/サフィックスをクリア」をスキャンしてリセットしてください。
3. 「プレフィックスの追加」または「サフィックスの追加」設定コードをスキャンします。
4. [ASCII ファンクションキー文字比較表](#) または [ASCII 文字比較表](#) に基づいて、入力するプレフィックスまたはサフィックスに対応する 16 進値を決定します。
5. 対応する 2 桁の 16 進数設定コードをスキャンします。
6. 文字を追加し続ける場合は、手順 4 と 5 を繰り返します。

例

プレフィックスとして **Ctrl+A** を追加する必要がある場合は、「プレフィックスの追加」「9」「7」「4」「1」を順にスキャンします。

例

Ctrl+Alt+A をサフィックスとして追加する必要がある場合は、「サフィックスの追加」「9」「7」「9」「9」「4」「1」を順にスキャンします。

バーコードの最初/中間/末尾の文字を非表示にする手順

1. バーコードのヘッダー、中間の開始ビット、中間の長さ、または末尾の文字を非表示にする設定コードをスキャンします。
2. 非表示にする文字の長さに対応する 16 進値を決定します (たとえば、4 文字を非表示にする場合は、0、4 をスキャンします。12 文字を非表示にする場合は、0、C をスキャンします)。
3. 対応する 2 桁の 16 進数設定コードをスキャンします。
4. 出力書式設定コードを通じて隠し文字機能を有効または無効にします。

9.2 拡張データ編集設定

このセクションでは、完全なコマンドからデータ編集設定コードを一度に生成できます。一括設定、リモートでのシリアルコマンド送信、または文字置換が必要な場合に適しています。

ワンコード設定オンライン生成ツール

注釈

オンライン生成ツールは HTML マニュアルでのみ表示されます。設定コードを生成した後、生成されたバーコードを直接スキャンして設定を完了できます。また、下記のコマンド形式でシリアルコマンドとして送信することもできます。

プレフィックスを追加する

接尾語を追加

バーコード先頭文字を非表示

バーコード中央文字を非表示

バーコード末尾文字を非表示

文字置換

ワンコード設定コマンド形式

編集形式:

```
$DATA#ncllxx#
```

n

1 サフィックス。2 プレフィックス。3 は、バーコードの末尾の内容を非表示にします。4 は、バーコードの中央のコンテンツを非表示にします。5 は、バーコードの最初のコンテンツを非表示にします。7 は文字を置き換えます。

c

Code ID は、現在、すべてのコードシステムを示す 0 のみをサポートしています。

ll

長さ、16 進値: 接頭辞と接尾辞 01~0A、01~FF を非表示、01~05 を置き換えます。

xx

ASCII 値。16 進数は、\x に 2 文字を加えたもので表現でき、文字の範囲は 0~9、A~F です。

表 1: ワンコード設定例

注文	意味
\$DATA#1005abcd\x03#	0x05 サフィックスを追加します: abcd + 0x03。
\$DATA#200ANETUM12345#	0x0A プレフィックス NETUM12345 を追加します。
\$DATA#3008#	バーコードの末尾にある 0x08 文字を非表示にします。
\$DATA#40050A#	バーコード内の 0x05 文字の後の 0x0A 文字を非表示にします。
\$DATA#5011#	バーコードヘッダー 0x11 バイトを非表示にします。
\$DATA#7001\x1D02GS#	GS (0x1D) 文字を GS に置き換えます。
\$DATA#7002NT01Z#	NT を Z に置き換えます。

文字置換操作

形式: \$DATA#70 + 被置換文字長さ + 被置換文字 + 置換後データ長さ + 置換後データ #

置換される文字と置換される文字の長さの合計は 6 以下で、1~6 文字が 5~0 文字に置換されることがサポートされます。



置換設定の読み取り



置換設定をクリアする

例

\$DATA#7001\x1D02GS# は、表示不可能な文字 GS (0x1D) を GS に置き換えて表示することを意味します。



文字置換操作: GS からテキスト GS へ

例

\$DATA#7001\x0A01\x0D# は、LF (0x0A) を CR (0x0D) に置き換えることを意味します。



文字置換操作: LF から CR

i 例

\$DATA#7006ABCDEF00# は、文字列 ABCDEF を何も置き換えない、つまり表示しないことを意味します。

9.3 端末文字設定

i 注釈

この終端文字は、デコードモジュールのサフィックスやワイヤレスサフィックスから独立しているため、デコードモジュールにサフィックスがない場合でも、迅速な設定が容易になります。



なし (デフォルト)



CR を入力してください



タブ文字 TAB



キャリッジリターンとラインフィード CRLF



改行 LF

9.4 GS1 AI フィールドブラケット設定

注釈

一部の AI フィールドのみが適用され、特別なバージョンのサポートが必要です。



生の形式 (デフォルト)



括弧を追加する



括弧を追加し、CR で区切ります。



括弧を追加し、TAB で区切ります

10 読書モード

10.1 バーコードデコード読み取りモード



キースキャンモード（デフォルト）



連続スキャンモード

i 注釈

連続スキャンモードは、連続高速スキャンシナリオに適しています。トリガーボタンを押して、開始または停止をトリガーします。



キーパルススキャンモード

i 注釈

キーレベルの変化を検出すると読み取りを開始し（約 30ms 保持）、再度キーレベルの変化を検出すると読み取りを終了します。読み取りが成功するかタイムアウトになると、読み取りは終了します。



ホストトリガーモード（一部のカスタマイズモデルにのみ適用）

i 注釈

ホストトリガーモードは一部のカスタマイズモデルにのみ適用されます。



バッチスキャンモード（一部のカスタマイズされたモデルにのみ適用可能）

デコードタイムアウト

このパラメータは、スキャン試行中にデコード処理が継続する最大時間を設定します。デフォルト: 3000ms、範囲: 0500 ~ 9999ms。



3 秒 (デフォルト)



6 秒

インターバル時間

連続モードでの 2 つの読み取り間の間隔。デフォルト: 500ms、範囲: 0100 ~ 9999ms。



0.5 秒 (デフォルト)



1 秒

11 MOD の設定

11.1 エンジン出力フォーマット

すべてのコードシステムにキャリッジリターンサフィックスを追加する

すべてのシンボルにキャリッジリターンサフィックスを追加するには、次のバーコードをスキャンしてください。この操作では、まず現在のサフィックスをすべてクリアしてから、すべてのコードシステムにキャリッジリターンサフィックスを追加します。



すべてのコードシステムにキャリッジリターンサフィックスを追加する

すべてのエンコーディングシステムに改行サフィックスを追加する

すべてのコードシステムにキャリッジリターンとラインフィードのサフィックスを追加するには、次のバーコードをスキャンしてください。この操作では、まず現在のサフィックスをすべてクリアし、次にキャリッジリターンとラインフィードのサフィックスをすべてのコードシステムに追加します。



すべてのエンコーディングに改行サフィックスを追加する

すべてのコードシステムにキャリッジリターンとラインフィードのサフィックスを追加します。

すべてのコードシステムにキャリッジリターンとラインフィードのサフィックスを追加するには、次のバーコードをスキャンしてください。この操作では、まず現在のサフィックスをすべてクリアし、次にキャリッジリターンとラインフィードのサフィックスをすべてのコードシステムに追加します。



すべてのコードシステムにキャリッジリターンとラインフィードのサフィックスを追加します。

11.2 バーコード設定

コーディングシステム

すべてのコード体系

コード読み取りデバイスですべてのシンボルを読み取る必要がある場合は、「すべてのシンボルが有効」バーコードをスキャンしてください。特定のシンボルのみを読み取るには、「すべてのシンボルが無効」バーコードをスキャンしてから、その特定のシンボルの有効化バーコードをスキャンしてください。



すべてのエンコードが有効になっています



すべてのエンコーディングが無効になっています

注釈

「すべてのシンボルが有効」バーコードをスキャンした後、2D 郵便番号はデフォルトでは有効になりません。2D 郵便番号は別途有効にする必要があります。

読み取り長の説明

特定のコード体系の有効読み取り長を設定できます。読み取ったバーコードデータの長さが有効読み取り長と一致しない場合、コード読み取り装置はエラー音を発します。最小長と最大長を同じ値に設定すると、バーコード読み取りデバイスは固定長のバーコードを強制的に読み取るようになります。これにより、読み間違いを減らすことができます。

i 例

長さが 6 ～10 文字のバーコードのみが読み取られます。

最小の長さ = 06。最大長 = 10

1. コードシステムを選択して最大読み取り長と最小読み取り長を設定し、そのディレクトリの下にある「最小読み取り長」バーコードをスキャンし、数値の「6」バーコードと付録チャートの「保存」バーコードをスキャンします。
2. 「最大読み取り長」バーコードをスキャンし、付録チャート、「0」からの数字「1」、および「保存」バーコードをスキャンします。

上記の手順により、選択したコードシステムの最大読み取り長が 10 に設定され、最小読み取り長が 6 に設定されます。

1次元コーディングシステム

コード読み取りデバイスですべての 1D バーコードを読み取る必要がある場合は、「すべての 1D バーコードが有効」バーコードをスキャンしてください。特定のコードシステムのみを読み取ることができます。「すべての 1D コードシステムが無効」バーコードをスキャンしてください。



* すべての 1D シンボルが有効になりました



すべての 1次元コードシステムを無効にする

QRコードシステム

コード読み取りデバイスですべてのバーコードシステムを読み取る必要がある場合は、「すべての QR コードシステムが有効」バーコードをスキャンしてください。特定のコードシステムのみを読み取ることができます。「すべての QR コードシステムが無効」バーコードをスキャンしてください。



* すべての QR コードシステムが有効になっています

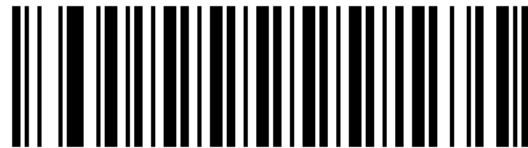


すべての QR コードが無効になっています

Codabar

注釈

すべての Codabar 設定をデフォルトに設定する



Codabar のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



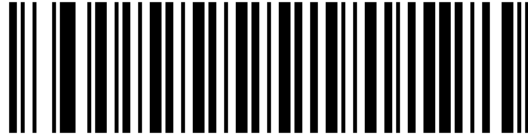
* 有効にする



無効にする

スタート/ストップキャラクター

「スタート/ストップ」文字出力はバーコードの先頭と末尾に配置されます。スタート/ストップキャラクターを送信するかどうかを設定可能。デフォルト = 送信なし。



伝染; 感染



* 送信しないでください

チェックキャラクター

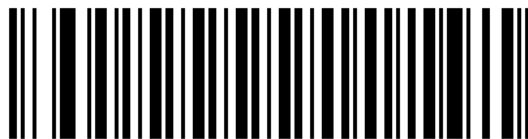
チェックキャラクターなしとは、バーコード読み取りデバイスがチェックキャラクターの有無にかかわらずすべてのバーコードを読み取り、送信することを意味します。(このときチェックキャラクター付きのバーコードを読み取る場合は、チェックキャラクターも一緒に送信されます)

「チェックキャラクター」を「有効、チェックキャラクターを送信しない」に設定すると、コード読み取り装置はバーコードの最後の桁に基づいて検証を行います。検証に合格すると、最後のチェックキャラクターを除いた通常データが送信されます。検証が失敗した場合、バーコードの内容は送信されません。

「チェックキャラクター」が「有効、チェックキャラクターを送信する」に設定されている場合、コード読み取り装置はバーコードの最後の桁に基づいて検証を行います。検証が成功すると、チェックキャラクターが通常データの最後の桁とともに送信されます。検証が失敗した場合、バーコードの内容は送信されません。



* チェック文字なし



有効、チェックキャラクターを送信しない



有効化、チェックキャラクターの送信

カスケード

Codabar はバーコードの連結をサポートしています。カスケードが有効な場合、バーコード読み取りデバイスは、「D」ストップキャラクターを持つバーコードに隣接する「D」スタートキャラクターを持つ Codabar バーコードを探します。この場合、2つのバーコードは1つに連結され、すべての「D」文字が省略されます。

A 1 2 3 4 D D 5 6 7 8 A

「Require」バーコードをスキャンして、コード読み取りデバイスが「D」文字で始まる隣接する Codabar バーコードなしで単一の「D」Codabar バーコードをデコードしないようにします。この選択は、ストップ/スタート D 文字のない Codabar には影響しません。



有効にする



必要



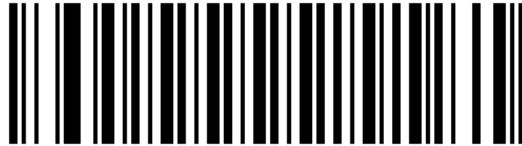
* 無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は 2～60 です。最小デフォルト値 = 4、最大デフォルト値 = 60。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



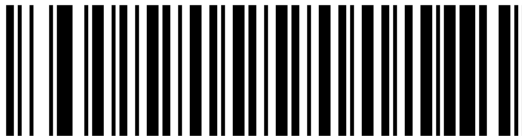
最小読み取り長



最大読み取り長

Code 39

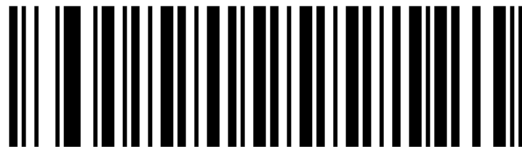
有効化/無効化



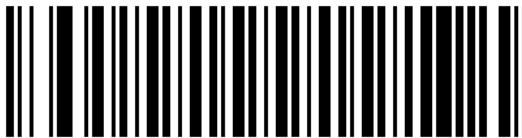
* 有効にする

注釈

デフォルトの Code 39 構成



Code 39 のデフォルト設定を復元する



無効にする

スタート/ストップキャラクター

「スタート/ストップキャラクター」はバーコードの最初と最後にあります。「スタート/ストップキャラクター」を送信する/送信しないを設定可能。デフォルト = 送信なし。



伝染; 感染



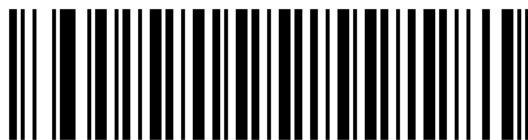
* 送信しないでください

チェックキャラクター

チェックキャラクターなしとは、バーコード読み取りデバイスがチェックキャラクターの有無にかかわらずすべてのバーコードを読み取り、送信することを意味します。(このときチェックキャラクター付きのバーコードを読み取る場合は、チェックキャラクターも一緒に送信されます)

「チェックキャラクター」を「有効、チェックキャラクターを送信しない」に設定すると、コード読み取り装置はバーコードの最後の桁に基づいて検証を行います。検証に合格すると、最後のチェックキャラクターを除いた通常データが送信されます。検証が失敗した場合、バーコードの内容は送信されません。

「チェックキャラクター」が「有効、チェックキャラクターを送信する」に設定されている場合、コード読み取り装置はバーコードの最後の桁に基づいて検証を行います。検証が成功すると、チェックキャラクターが通常データの最後の桁とともに送信されます。検証が失敗した場合、バーコードの内容は送信されません。



* チェック文字なし



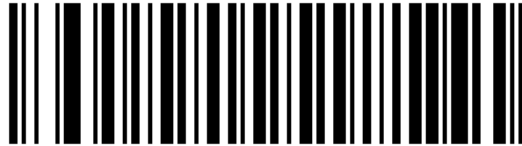
有効、チェックキャラクターを送信しない



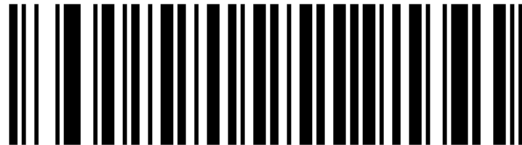
有効化、チェックキャラクターの送信

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は0～48です。最小デフォルト値=0、最大デフォルト値=48。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長

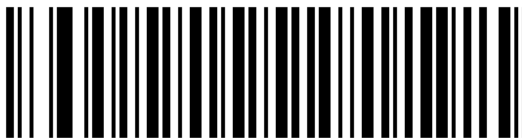


最大読み取り長

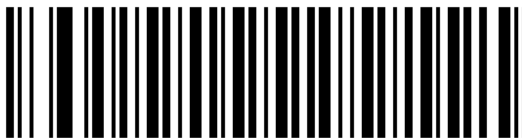
Code 32 Pharmaceutical (PARAF)

コード 32 医薬品は、イタリアの薬局で使用される Code 39 バーコードの形式です。Code 32 を構成する場合は、まず Code 39 を有効にしてから構成する必要があります。

このエンコーディングは PARAF とも呼ばれます。



有効にする



* 無効にする

FULL ASCII

Code 39 Full ASCII デコードが有効な場合、バーコード内の一部の文字は単一の文字にデコードされます。

例

\$V は、ASCII 文字 SYN にデコードされ、/C は、ASCII 文字 # にデコードされます。デフォルト = 無効。

NUL%U	DLE\$P	SP SPACE	0 /P	@%V	P P	' %W	p +P
ソーサ	DC1 \$Q	!/A	1 /Q	A A	Q Q	a +A	q +Q
STX\$B	DC2 \$R	"/B	2 /R	B B	R R	b +B	r +R
ETX \$C	DC3 \$S	# /C	3 /S	C C	S S	c +C	s +S
EOT \$D	DC4 \$T	\$ /D	4 /T	D D	T T	d +D	t +T
ENQ \$E	NAK \$U	% /E	5 /U	E E	U U	e +E	u +U
確認 \$F	SYN\$V	& /F	6 /V	F F	V V	f +F	v +V
ベル \$G	ETB \$W	' /G	7 /W	G G	W W	g +G	w +W
BS\$H	CAN\$X	(/H	8 /X	H H	X X	h +H	x +X
HT \$I	EM \$Y	) /私	9 /Y	I I	Y Y	i +I	y +Y
LF \$J	サブ \$Z	* /J	: /Z	J J	Z Z	j +J	z +Z
VT\$K	ESC %A	+ /K	; %F	K K	[%K	k +K	{ %P
FF\$L	FS %B	, /L	< %G	L L	\ %L	l +L	%Q
CR \$M	GS %C	- /M	= %H	M M	] %M	m +M	} %R
とても	RS %D	. /N	> %I	N N	^ %N	n +N	~ %S
シソ	US %E	/ /O	? %J	O O	_ %O	o +O	DEL %T

文字ペア /M と /N は、それぞれマイナス記号とピリオドとしてデコードされます。/P ~ /Y の文字ペアは 0 ~ 9 としてデコードされます。



フル ASCII を有効にする



* フル ASCII が無効になりました

Interleaved 2 of 5

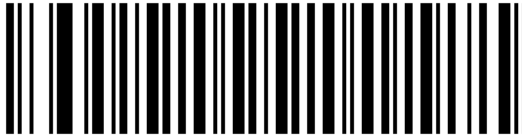
注釈

すべての Interleaved 2 of 5 設定をデフォルトに設定する

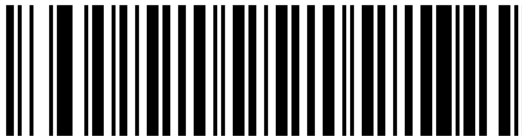


Interleaved 2 of 5 のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

チェックキャラクター

チェックキャラクターなしとは、バーコード読み取りデバイスがチェックキャラクターの有無にかかわらずすべてのバーコードを読み取り、送信することを意味します。(このときチェックキャラクター付きのバーコードを読み取る場合は、チェックキャラクターも一緒に送信されます)

「チェックキャラクター」を「有効、チェックキャラクターを送信しない」に設定すると、コード読み取り装置はバーコードの最後の桁に基づいて検証を行います。検証に合格すると、最後のチェックキャラクターを除いた通常データが送信されます。検証が失敗した場合、バーコードの内容は送信されません。

「チェックキャラクター」が「有効、チェックキャラクターを送信する」に設定されている場合、コード読み取り装置はバーコードの最後の桁に基づいて検証を行います。検証が成功すると、チェックキャラクターが通常データの最後の桁とともに送信されます。検証が失敗した場合、バーコードの内容は送信されません。



* チェック文字なし



有効、チェックキャラクターを送信しない



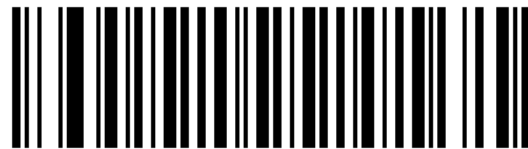
有効化、チェックキャラクタの送信

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は2～80です。最小デフォルト値=4、最大デフォルト値=80。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

NEC 2of5

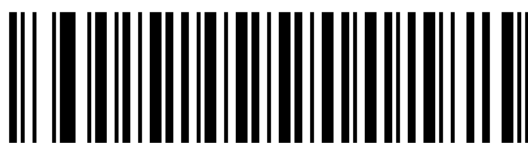
有効化/無効化

注釈

すべての NEC 2 of 5 設定をデフォルトに設定する



NEC 2 of 5 のデフォルト設定を復元する



* 有効にする



無効にする

チェックキャラクター

チェックキャラクターなしとは、バーコード読み取りデバイスがチェックキャラクターの有無にかかわらずすべてのバーコードを読み取り、送信することを意味します。(このときチェックキャラクター付きのバーコードを読み取る場合は、チェックキャラクターも一緒に送信されます)

「チェックキャラクター」を「有効、チェックキャラクターを送信しない」に設定すると、コード読み取り装置はバーコードの最後の桁に基づいて検証を行います。検証に合格すると、最後のチェックキャラクターを除いた通常のデータが送信されます。検証が失敗した場合、バーコードの内容は送信されません。

「チェックキャラクター」が「有効、チェックキャラクターを送信する」に設定されている場合、コード読み取り装置はバーコードの最後の桁に基づいて検証を行います。検証が成功すると、チェックキャラクターが通常データの最後の桁とともに送信されます。検証が失敗した場合、バーコードの内容は送信されません。



* チェック文字なし



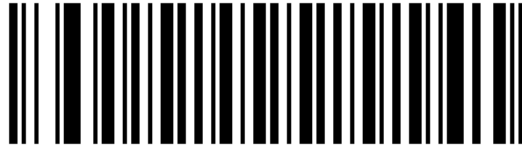
有効、チェックキャラクターを送信しない



有効化、チェックキャラクターの送信

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は2～80です。最小デフォルト値=4、最大デフォルト値=80。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長

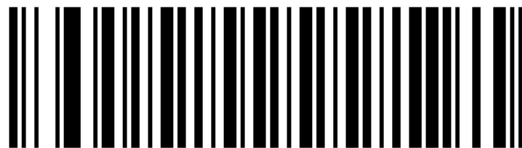


最大読み取り長

Code 93

注釈

すべての Code 93 設定をデフォルトに設定する



Code 93 のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

読み取り長さ

バーコードをスキャンして、読み取り長を変更します。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は 0 ～ 80 です。最小デフォルト値 = 0、最大デフォルト値 = 80。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#) を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

Straight 2 of 5 Industrial (three-bar start/stop)

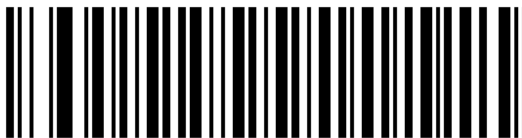
注釈

ストレート 2/5 工業用デフォルト設定の復元



ストレート 2/5 工業用デフォルト設定の復元

有効化/無効化



有効にする



* 無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は1～48です。最小デフォルト値＝4、最大デフォルト値＝48。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長

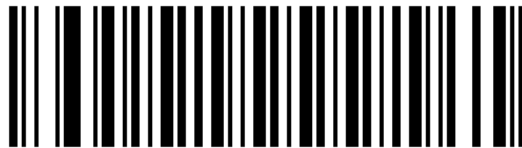


最大読み取り長

Straight 2 of 5 IATA (two-bar start/stop)

注釈

Straight 2 of 5 IATA のデフォルト設定を復元する

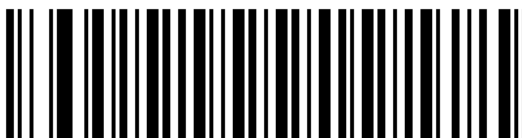


Straight 2 of 5 IATA のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



有効にする



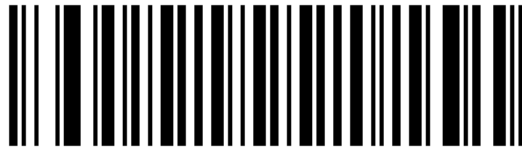
* 無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は1～48です。最小デフォルト値＝4、最大デフォルト値＝48。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

Matrix 2 of 5

注釈

すべての Matrix 2 of 5 設定がデフォルトになります



マトリックス 2/5 のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



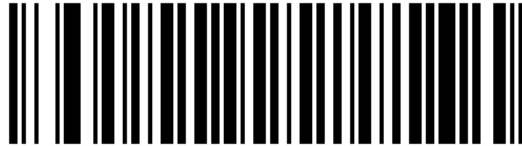
有効にする



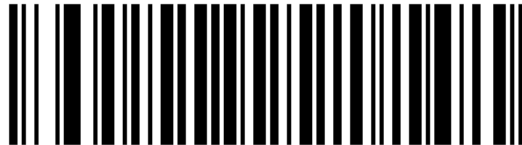
* 無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は 1～80 です。最小デフォルト値 = 4、最大デフォルト値 = 80。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



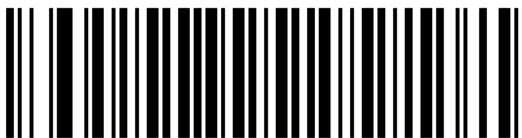
最大読み取り長

チェック

このオプションは、Matrix 2 of 5 コード検証機能の有効化と無効化を設定します。



検証を有効にする



* 検証を無効にする

Code 11

注釈

すべての設定をデフォルトにする



Code 11 のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



有効にする



* 無効にする

チェックデジット

このオプションは、Code 11 バーコードに1つまたは2つのチェックデジットを設定します。デフォルト=2つのチェックデジット。



チェックデジット



* 2つのチェックデジット

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は1～80です。最小デフォルト値=4、最大デフォルト値=80。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

Code 128

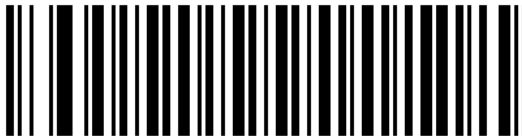
注釈

すべての Code 128 設定をデフォルトに設定する



Code 128 のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

ISBT 128 カスケード



ISBT 128 が有効になっています



* ISBT 128 が無効になっています

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は 0 ～ 80 です。最小デフォルト値 = 0、最大デフォルト値 = 80。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



* 最大読み取り長

GS1-128

注釈

すべての GS1-128 設定をデフォルトに設定する



GS1-128 のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は1～80です。最小デフォルト値=1、最大デフォルト値=80。(注:「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

UPC-A

注釈

すべての UPC-A 設定をデフォルトに設定する



UPC-A のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



* 有効にする



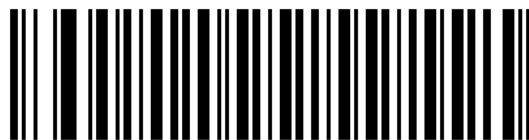
無効にする

チェックデジット

以下は、出力データの最後にチェックデジットを送信するかどうかを設定します。デフォルト = 有効。



* 有効にする



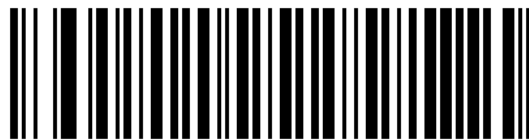
無効にする

デジタルシステム

UPC 数値システム文字は通常、出力データの先頭で送信されます (デフォルト = 有効)。



* 有効にする



無効にする

追加コード

この設定により、読み取られたすべての UPC-A データの末尾に 2 桁または 5 桁の追加コードが追加されます。

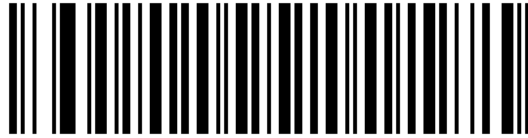
デフォルト = 2/5 桁のアドオンコードは無効です。



2 桁のアドオンコードが有効です



* 2 桁の付録は無効です



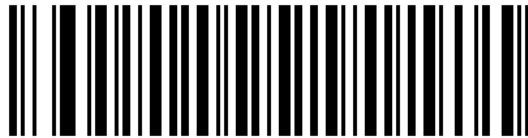
5 桁のアドオンコードが有効です



* 5 桁の付録は無効です

必要なアドオンコード

「必須」をスキャンすると、バーコード読み取りデバイスは追加コードを含む UPC-A バーコードのみを読み取ります。次に、2 桁または 5 桁のアドオンコードを有効にする必要があります。デフォルト = 必要ありません。



必要



* 不要

追加のコード区切り文字

この機能を有効にすると、バーコードと追加コードがスペースで区切られます。無効にすると、スペースの分離は行われません。デフォルト = 有効。



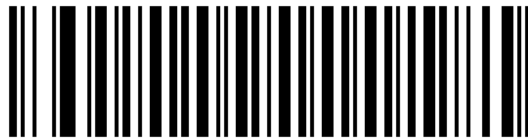
* 有効にする



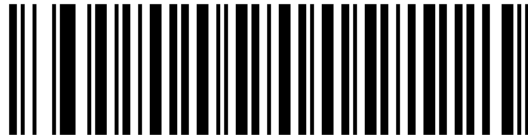
無効にする

i 注釈

次の設定コードを使用して、UPC-A を EAN-13 に変換できます。



回らない



変化

UPC-E0

i 注釈

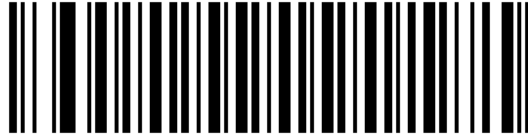
すべての UPC-E 設定をデフォルトに設定する



UPC-E のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化

ほとんどの UPC バーコードは 0 桁システムで始まります。これらのバーコードを読み取るには、「*UPC-E0 Enable」バーコードをスキャンします。1 桁システムでバーコードを読み取る必要がある場合は、「UPC-E1 有効」をスキャンしてください。デフォルト = UPC-E0 が有効です。



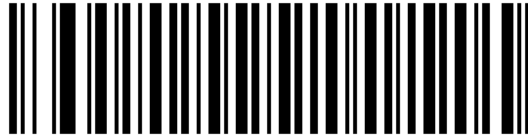
* UPC-E0 が有効になりました



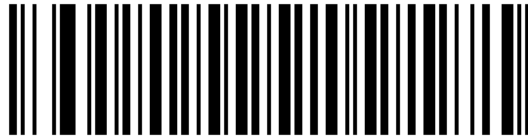
UPC-E0 が無効になっています

バーコード拡張子

UPC-E Expand は、UPC-E バーコードを 12 桁の UPC-A 形式に展開します。デフォルト = 無効。



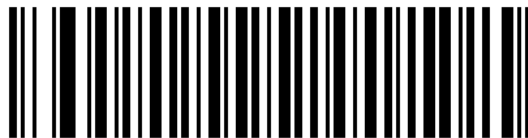
有効にする



* 無効にする

必要なアドオンコード

「必須」をスキャンすると、バーコード読み取りデバイスは追加コードを含む UPC-E バーコードのみを読み取ります。デフォルト = 必要ありません。



必要



* 不要

追加のコード区切り文字

この機能を有効にすると、バーコードと追加コードがスペースで区切られます。無効にすると、スペースの分離は行われません。デフォルト = 有効。



* 有効にする



無効にする

チェックデジット

以下は、出力データの最後にチェックデジットを送信するかどうかを設定します。デフォルト = 有効。



* 有効にする



無効にする

デジタルシステム

UPC の数値システム文字は、通常、出力データの先頭で送信されます。デフォルト = 有効。



* 有効にする



無効にする

追加コード

この設定により、読み取られたすべての UPC-E データの末尾に 2/5 桁の追加コードが追加されます。デフォルト = 2/5 桁のアドオンコードは無効です。



2 桁のアドオンコードが有効です



* 2 桁の付録は無効です



5 桁のアドオンコードが有効です



* 5 桁の付録は無効です

UPC-E1

ほとんどの UPC バーコードは 0 桁システムで始まります。これらのバーコードを読み取るには、「*UPC-E0 Enable」バーコードをスキャンします。1 桁システムでバーコードを読み取る必要がある場合は、「UPC-E1 有効」をスキャンしてください。デフォルト = UPC-E1 は無効です。



UPC-E1 が有効になっています

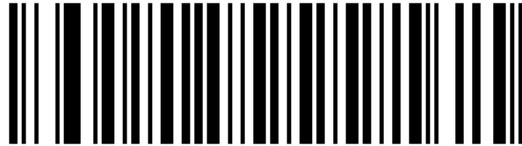


* UPC-E1 が無効になっています

EAN/JAN-13

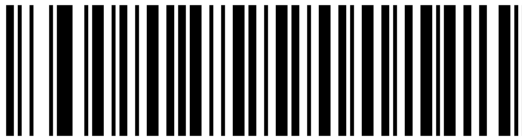
注釈

すべての EAN/JAN 設定をデフォルトにします



EAN/JAN-13 のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

注釈

UPC-A バーコードを EAN-13 形式に変換する場合は、無効化された UPC-A バーコードをスキャンします。

チェックデジット

以下は、出力データの最後にチェックデジットを送信するかどうかを設定します。デフォルト = 有効。



* 有効にする

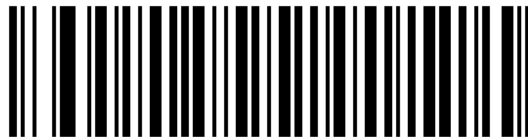


無効にする

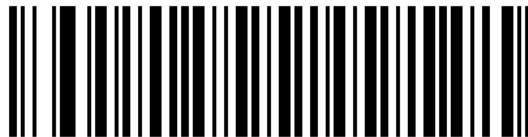
追加コード

この設定では、読み取られたすべての EAN/JAN-13 データの末尾に 2/5 桁の追加コードが追加されます。

デフォルト = 2/5 桁のアドオンコードは無効です。



2 桁のアドオンコードが有効です



* 2 桁の付録は無効です



5 桁のアドオンコードが有効です



* 5 桁の付録は無効です

必要なアドオンコード

「必須」をスキャンすると、コード読み取りデバイスは追加コードを含む EAN/JAN-13 バルコードのみを読み取ります。デフォルト = 必要ありません。



必要



* 不要

追加のコード区切り文字

この機能を有効にすると、バーコードと追加コードがスペースで区切られます。無効にすると、スペースの分離は行われません。デフォルト = 有効。



* 有効にする



無効にする

ISBN Translate

ISBN 表記で送信するように設定すると、EAN-13 ブックランド表記は同等の ISBN 表記形式に変換されます。デフォルト = 無効。



有効にする



* 無効にする

EAN/JAN-8

注釈

すべての EAN/JAN-8 設定をデフォルトにします

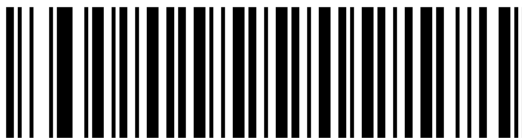


EAN/JAN-8 のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

チェックキャラクター

出力データの最後にチェックキャラクターを送信するかどうかを設定します。デフォルト = 有効。



* 有効にする

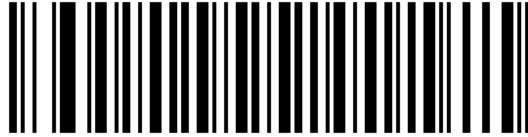


無効にする

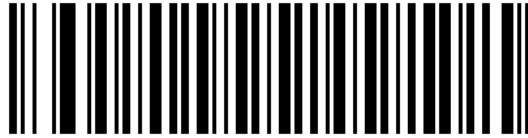
追加コード

この設定では、読み取られたすべての EAN/JAN-13 データの末尾に 2/5 桁の追加コードが追加されます。

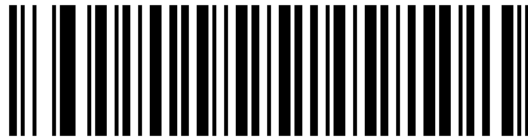
デフォルト = 2/5 桁のアドオンコードは無効です



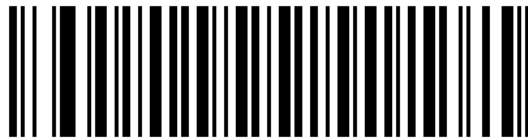
2桁のアドオンコードが有効です



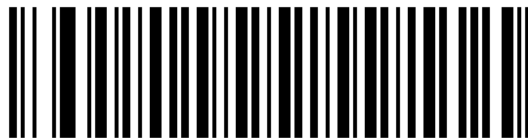
* 2桁の付録は無効です



5桁のアドオンコードが有効です



5桁のアドオンコードが有効です



* 5桁の付録は無効です

必要なアドオンコード

「必須」をスキャンすると、コード読み取りデバイスは追加コードを含む EAN/JAN-8 バーコードのみを読み取ります。デフォルト＝必要ありません。



必要



* 不要

追加のコード区切り文字

この機能を有効にすると、バーコードと追加コードがスペースで区切られます。無効にすると、スペースの分離は行われません。デフォルト = 有効。



* 有効にする



無効にする

MSI

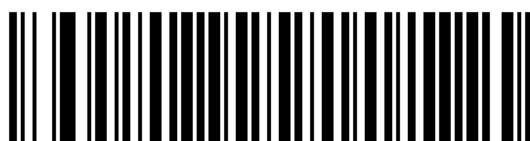
注釈

すべての MSI 設定をデフォルトにします



MSI のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



有効にする



* 無効にする

チェックキャラクター

MSI バーコードは、さまざまな種類のチェック文字を使用します。チェックキャラクターを使用して MSI バーコードを読み取るようにバーコード読み取りデバイスを設定できます。デフォルト = MOD10 は有効ですが、送信されません。

「チェックキャラクター」が「MOD10 を有効にして送信する」に設定されている場合、バーコード読み取りデバイスは、指定された種類のチェックキャラクターが印刷された MSI バーコードのみを読み取って使用し、出力データの最後にキャラクターを送信します。

[チェックキャラクター] が [MOD10 を有効にするが送信しない] に設定されている場合、デバイスは指定されたタイプのチェックキャラクターで印刷された MSI バーコードのみを読み取り、使用しますが、スキャンされたチェックキャラクターは送信しません。



* MOD10 を有効にしますが、送信はしません



MOD10 を有効にして送信する



MSI チェック文字を無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小および最大の長さは 4～48 です。最小デフォルト値 = 4、最大デフォルト値 = 48。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#) を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

GS1 DataBar Omnidirectional

注釈

すべての GS1 DataBar 全方向設定をデフォルトにします



GS1 DataBar 全方向のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

GS1 DataBar Limited

注釈

すべての GS1 DataBar Limited 設定をデフォルトに設定する



GS1 DataBar Limited のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

GS1 DataBar Expanded

注釈

すべての設定をデフォルトにする



GS1 DataBar Expanded のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は4～74です。最小デフォルト値=4、最大デフォルト値=74。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指

定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要もあります。読み取り長の説明を参照してください)



最小読み取り長

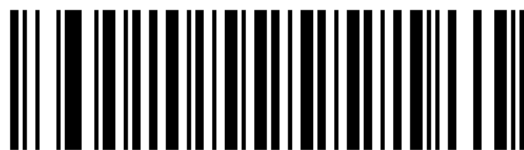


最大読み取り長

PDF417

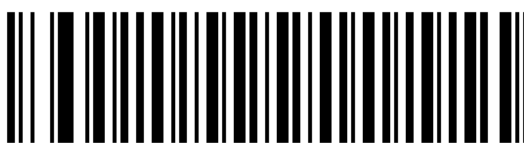
注釈

すべての PDF417 設定をデフォルトに設定する



PDF417 のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は1～2750です。最小デフォルト値＝1、最大デフォルト値＝2750。(注:「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

QR Code

注釈

すべての QR Code 設定をデフォルトに設定する



QR Code および Micro QR Code のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小および最大の長さは1～7089です。最小デフォルト値=1、最大デフォルト値=7089。(注:「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

Data Matrix

注釈

すべての Data Matrix 設定をデフォルトに設定する



Data Matrix のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小および最大長は1～3116です。最小デフォルト値＝1、最大デフォルト値＝3116。(注:「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最大読み取り長

最小読み取り長



最大読み取り長

Aztec Code

注釈

すべての Aztec コード設定をデフォルトに設定する



Aztec コードのデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小および最大の長さは1～3832です。最小デフォルト値=1、最大デフォルト値=3832。(注:「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

China Post (Hong Kong 2 of 5)

注釈

すべての中国郵便 (香港 2/5) 設定がデフォルトになります



中国郵便のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



有効にする



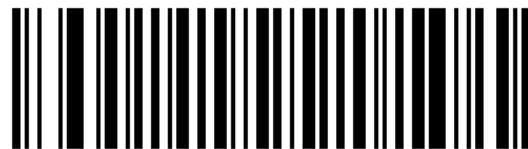
* 無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は2～80です。最小デフォルト値＝4、最大デフォルト値＝80。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要もあります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

Korea Post

注釈

すべての設定をデフォルトにする



韓国郵便のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



有効にする



* 無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は2～80です。最小デフォルト値=4、最大デフォルト値=48。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



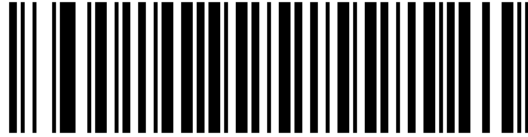
最大読み取り長

チェックデジット

次のバーコードをスキャンして、出力データの最後にチェックディジットを送信するかどうかを判断します。デフォルト = 無効。



有効にする



* 無効にする

Han Xin Code

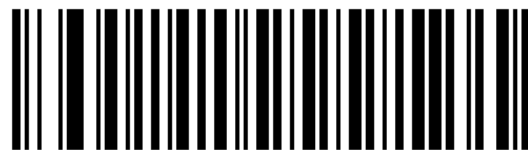
有効化/無効化



有効にする

注釈

Han Xin の設定をすべてデフォルトに設定する



Han Xin コードのデフォルト設定を復元する



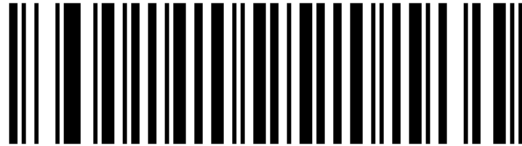
* 無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は1～1000です。最小デフォルト値=1、最大デフォルト値=1000。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

MaxiCode

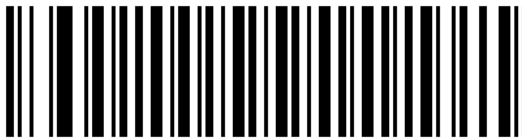
注釈

すべての MaxiCode 設定をデフォルトに設定する



MaxiCode のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



有効にする



無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は 1～150 です。最小デフォルト値 = 1、最大デフォルト値 = 150。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#) を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

Micropdf

注釈

すべての micropdf 設定をデフォルトに設定する



MicroPDF417 のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



有効にする



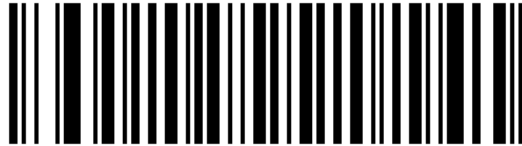
無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は 1～366 です。最小デフォルト値 = 1、最大デフォルト値 = 366。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#) を参照してください)



最小読み取り長

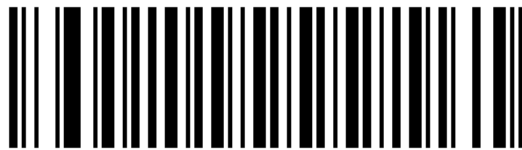


最大読み取り長

GS1 Composite Code

注釈

すべてのコンポジットのデフォルト設定

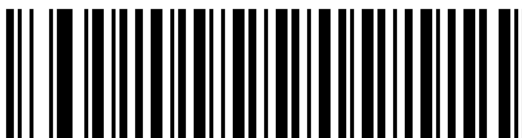


GS1 複合コードのデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



有効にする



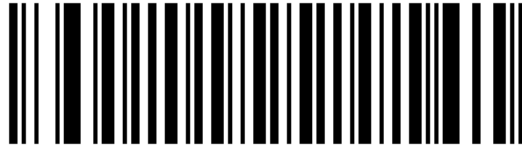
無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小および最大長は1～2435です。最小デフォルト値＝1、最大デフォルト値＝2435。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長

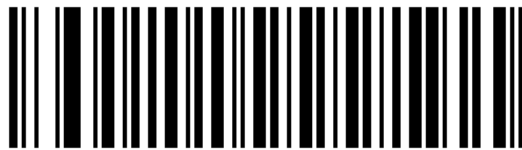


最大読み取り長

Codablock A

注釈

すべてのコンポジットのデフォルト設定



Codablock A のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



有効にする



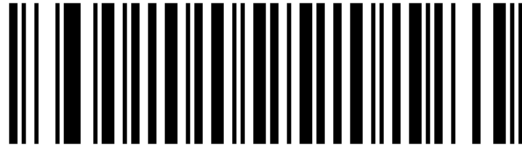
無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は1～600です。最小デフォルト値＝1、最大デフォルト値＝600。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

Codablock F

注釈

すべてのコンポジットのデフォルト設定



Codablock F のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



有効にする



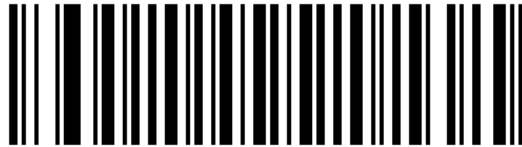
無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は1～2048です。最小デフォルト値=1、最大デフォルト値=2048。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

11.3 エンジンコード表

1次元コーディングシステム

Symbology	AIM	HS7			
	ID	可能な修飾子 (m)	ID	Hex	
All Symbologies				99	
Codabar	]FM	0-1	a	61	
Code 11	]H3		h	68	
Code 128	]Cm	0, 1, 2, 4	j	6A	
Code 32	]X0		<	3C	
Pharmaceutical (PARAF)					
Code 39	]午前	0, 1, 3, 4, 5, 7	b	62	
(supports Full ASCII mode)					
TCIF Linked Code 39 (TLC39)	]L2		T	54	
Code 93 and 93i	]ぐむ	0-9, A-Z, a-m	i	69	
EAN	]ええと	0, 1, 3, 4	d	64	
EAN-13 (including Bookland EAN)	]E0		d	64	
EAN-13 with Add-On	]E3		d	64	
EAN-13 with Extended Coupon Code	]E3		d	64	
EAN-8	]E4		D	44	

次のページに続く

表 2 – 前のページからの続き

Symbology	AIM	HS7		
EAN-8 with Add-On GS1	]E3		D	44
GS1 DataBar	] 彼ら	0	y	79
GS1 DataBar Limited	] 彼ら		{	7B
GS1 DataBar Expanded	] 彼ら		}	7D
GS1-128 2 of 5	]C1		I	49
China Post (Hong Kong 2 of 5)	]X0		Q	51
Interleaved 2 of 5	] 私は	0, 1, 3	e	65
Matrix 2 of 5	]X0		m	6D
NEC 2 of 5	]X0		Y	59
Straight 2 of 5 IATA	] うーん	0, 1, 3	f	66
Straight 2 of 5 Industrial	]S0		f	66
MSI	] うーん	0, 1	g	67
Telepen	]Bm		t	74
UPC		0, 1, 2, 3, 8, 9, A, B, C		
UPC-A	]E0		c	63
UPC-A with Add-On	]E3		c	63
UPC-A with Extended Coupon Code	]E3		c	63
UPC-E	]E0		E	45
UPC-E with Add-On	]E3		E	45
UPC-E1	]X0		E	45
Add HS7 Code ID				5C80
Add AIM Code ID				5C81
Add Backslash				5C5C
Batch Mode Quantity			5	35

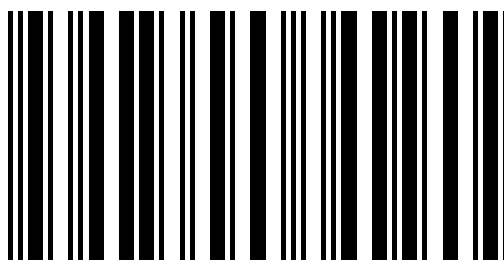
QRコードシステム

Symbology	AIM	HS7	ID	Hex
	ID	可能な修飾子 (m)	ID	Hex
All Symbologies				99
Aztec Code	] zm	0-9, A-C	z	7A
Chinese Sensible Code (Han Xin Code)	]X0		H	48
Codablock A	]O6	0, 1, 4, 5, 6	V	56
Codablock F	] ああ	0, 1, 4, 5, 6	q	71
Code 49	]Tm	0, 1, 2, 4	l	6C
Data Matrix	]dm	0-6	w	77
GS1	] 彼ら	0-3	y	79
GS1 Composite	] 彼ら	0-3	y	79
GS1DataBar Omnidirectional	] 彼ら	0-3	y	79
MaxiCode	] えーっと	0-3	x	78
PDF417	] うーん	0-2	r	72
MicroPDF417	] うーん	0-5	R	52
QR Code	]Qm	0-6	s	73
Micro QR	]Qm		s	73

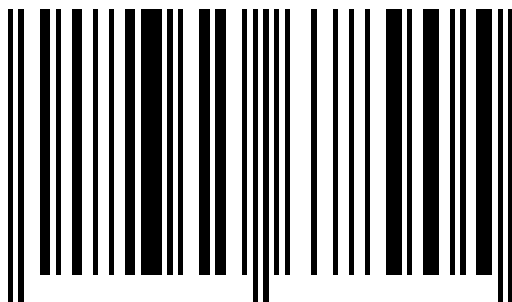
郵便番号

Symbology	AIM	HS7	ID	Hex
	ID	可能な修飾子 (m)	ID	Hex
All Symbologies				99
Australian Post	]X0		A	41
British Post	]X0		B	42
Canadian Post	]X0		C	43
China Post	]X0		Q	51
InfoMail	]X0		,	2c
Intelligent Mail Bar Code	]X0		M	4D
Japanese Post	]X0		J	4A
KIX (Netherlands) Post	]X0		K	4B
Korea Post	]X0		?	3F
Planet Code	]X0		L	4C
Postal-4i	]X0		N	4E
Postnet	]X0		P	50

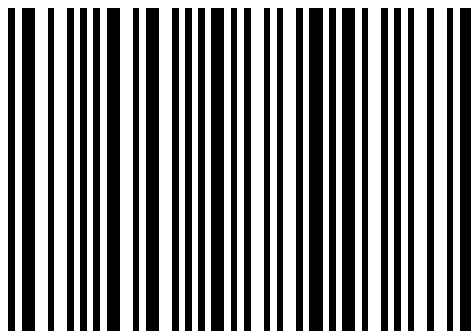
バーコードの例



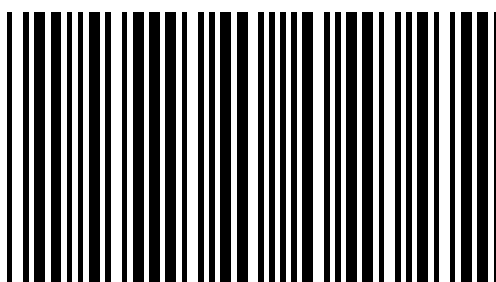
コンテンツ例: 1234567890



コンテンツ例: 0012345678905



コンテンツ例: A13579B



コンテンツ例: BC321



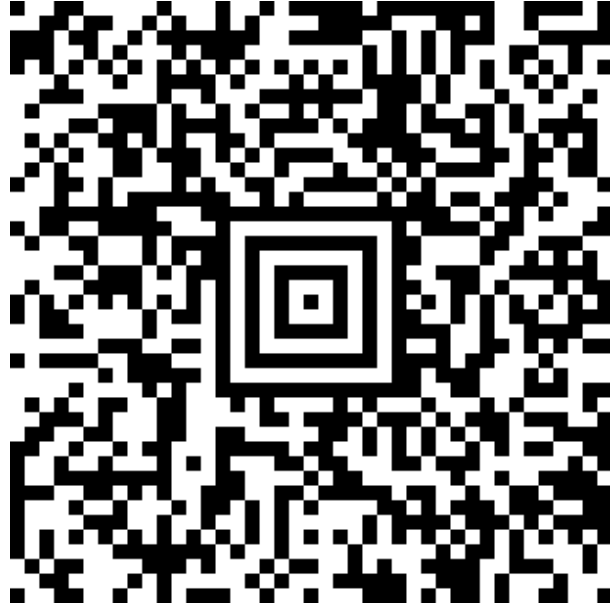
コンテンツ例: 9780330290951



コンテンツ例: Code 128



コンテンツ例: 123456-9\$



コンテンツ例: Package #98765-43210<CR><LF>Ship To:<CR><LF>Jane Doe<CR><LF>123 Main
Street<CR><LF>Anywhere, NY 12345<SUB>



コンテンツ例: 01234567

Matrix 2 of 5



6543210

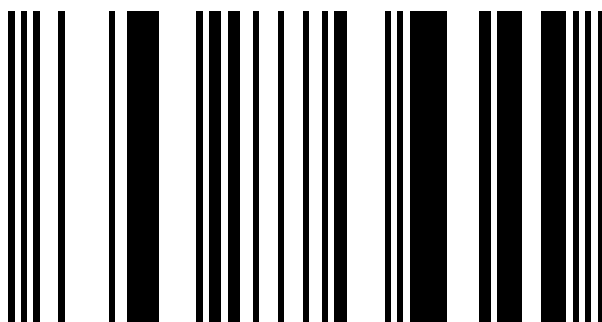
バーコードのサンプル画像

Straight 2 of 5 Industrial

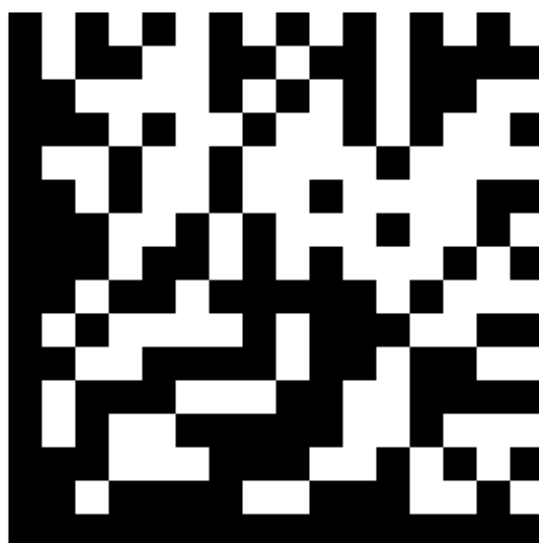


123456

バーコードのサンプル画像



コンテンツ例: (01)00123456789012



コンテンツ例: Test Symbol

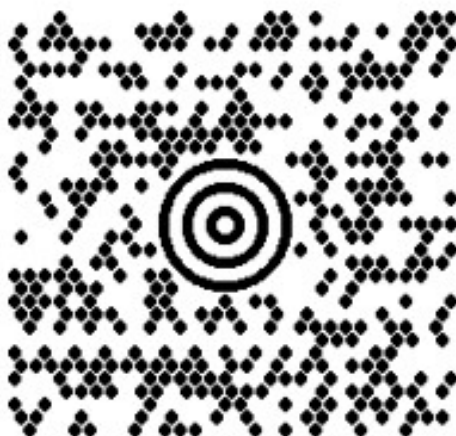
Micro PDF417



Test Message

バーコードのサンプル画像

MaxiCode



Test Message

バーコードのサンプル画像



コンテンツ例: 1998 Chev Blazer<CR>123437486089J672<CR>Reg PAN 123 ABC Dec 1999

11.4 エンジンキャラクターテーブル

ASCII 変換表

16 進数	10 進数	キャラクター
00	0	NUL (ヌル文字)
01	1	SOH (ヘッダーの開始)
02	2	STX (テキストの開始)
03	3	ETX (テキストの終わり)
04	4	EOT (送信終了)
05	5	ENQ (お問い合わせ)
06	6	ACK (確認応答)
07	7	BEL (ベル)
08	8	BS (バックスペース)
09	9	HT (水平 Tab)
0a	10	LF (改行)
0b	11	VT (垂直 Tab)
0c	12	FF (フォームフィード)
0d	13	CR (キャリッジリターン)
0e	14	SO (シフトアウト)
0f	15	SI (シフトイン)
10	16	DLE (データリンクエスケープ)
11	17	DC1 (XON) (デバイス制御 1)
12	18	DC2 (デバイス制御 2)
13	19	DC3 (XOFF) (デバイス制御 3)
14	20	DC4 (デバイス制御 4)
15	21	NAK (否定応答)
16	22	SYN (同期アイドル)
17	23	ETB (送信ブロックの終了)
18	24	CAN (キャンセル)
19	25	EM (メディアの終わり)
1a	26	SUB (サブ)
1b	27	ESC (エスケープ)
1c	28	FS (ファイルセパレータ)
1d	29	GS (グループセパレーター)
1e	30	RS (送信要求)
1f	31	US (単位区切り記号)
20	32	SP (スペース)
21	33	! (感嘆符)
22	34	" (二重引用符)
23	35	# (Number Sign)
24	36	\$ (ドル記号)
25	37	% (パーセント)
26	38	& (アンパサンド)
27	39	` (一重引用符)
28	40	((右/右括弧)
29	41	) (右/右括弧)
2a	42	* (アスタリスク)

次のページに続く

表 3 – 前のページからの続き

16 進数	10 進数	キャラクター
2b	43	+ (プラス)
2c	44	, (カンマ)
2d	45	- (Minus / Dash)
2e	46	。(ドット)
2f	47	/(フォワードスラッシュ)
30	48	0
31	49	1
32	50	2
33	51	3
34	52	4
35	53	5
36	54	6
37	55	7
38	56	8
39	57	9
3a	58	: (結腸)
3b	59	; (セミコロン)
3c	60	< (未満)
3d	61	= (等号)
3e	62	> (Greater Than)
3f	63	? (疑問符)
40	64	@ (AT 記号)
41	65	A
42	66	B
43	67	C
44	68	D
45	69	E
46	70	F
47	71	G
48	72	H
49	73	I
4a	74	J
4b	75	K
4c	76	L
4d	77	M
4e	78	N
4f	79	O
50	80	P
51	81	Q
52	82	R
53	83	S
54	84	T
55	85	U
56	86	V
57	87	W
58	88	X
59	89	Y
5a	90	Z

次のページに続く

表 3 - 前のページからの続き

16 進数	10 進数	キャラクター
5b	91	[(左/開き括弧)
5c	92	\ (バックスラッシュ)
5d	93	] (右/閉じ括弧)
5e	94	^ (キャレット/サーカムフレックス)
5f	95	_ (アンダースコア)
60	96	' (グレイブアクセント)
61	97	a
62	98	b
63	99	c
64	100	d
65	101	e
66	102	f
67	103	g
68	104	h
69	105	i
6a	106	j
6b	107	k
6c	108	l
6d	109	m
6e	110	n
6f	111	o
70	112	p
71	113	q
72	114	r
73	115	s
74	116	t
75	117	u
76	118	v
77	119	w
78	120	x
79	121	y
7a	122	z
7b	123	{ (左/左中括弧)
7c	124	(縦棒)
7d	125	} (右/右中括弧)
7e	126	~ (チルダ)
7f	127	DEL (削除)

キーボード操作 ASCII 変換

16 進数	10 進数	CTRL+X	説明する
00	0	CTRL+@	
01	1	CTRL+A	すべて選択
02	2	CTRL+B	大胆な
03	3	CTRL+C	コピー

次のページに続く

表 4 – 前のページからの続き

16 進数	10 進数	CTRL+X	説明する	
04	4	CTRL+D	フォント形式	
05	5	CTRL+E	中央揃え	
06	6	CTRL+F	探す	
07	7	CTRL+G	位置	
08	8	CTRL+H	交換する	
09	9	CTRL+I	イタリック体	
0a	10	CTRL+J	正当化する	
0b	11	CTRL+K	ハイパーリンク	
0c	12	CTRL+L	左揃え	
0d	13	CTRL+M	左インデント	
0e	14	CTRL+N	新しい	
0f	15	CTRL+O	開ける	
10	16	CTRL+P	印刷する	
11	17	CTRL+Q		
12	18	CTRL+R	右揃え	
13	19	CTRL+S	保存	
14	20	CTRL+T	1 行目のインデント	
15	21	CTRL+U	下線	F12
16	22	CTRL+V	ペースト	F1
17	23	CTRL+W	書き込みディスクが閉じられました	F2
18	24	CTRL+X	カット	F3
19	25	CTRL+Y	繰り返す	F4
1a	26	CTRL+Z	キャンセル	F5
1b	27	CTRL+[		F6
1c	28	CTRL+\		F7
1d	29	CTRL+]		F8
1e	30	CTRL+^		F9
1f	31	CTRL+-		F10
7f	32	CTRL+		

11.5 エンジンセッティングコード

付録チャート



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9



A



B



C



D



E



F



保存



あきらめる

i 注釈

文字または数字のスキャン中に(「保存」バーコードをスキャンする前に)エラーが発生した場合は、「破棄」バーコードをスキャンし、正しい文字または数字を再スキャンしてから、「保存」バーコードをスキャンします。

12 付録

12.1 文字検索テーブル

ASCII ファンクションキー文字比較表

00H-0FH

HEX	CODE	* 構成 0	Config3	Config1	Config4	Config2 Windows	Config5 Windows
00H	NUL	NUL	NUL	Ctrl+@	Ctrl+@	ALT+000	ALT+000
01H	SOH	NUL	NUL	Ctrl+A	Ctrl+A	ALT+001	ALT+001
02H	STX	NUL	NUL	Ctrl+B	Ctrl+B	ALT+002	ALT+002
03H	ETX	NUL	NUL	Ctrl+C	Ctrl+C	ALT+003	ALT+003
04H	EOT	NUL	NUL	Ctrl+D	Ctrl+D	ALT+004	ALT+004
05H	ENQ	NUL	NUL	Ctrl+E	Ctrl+E	ALT+005	ALT+005
06H	ACK	NUL	NUL	Ctrl+F	Ctrl+F	ALT+006	ALT+006
07H	BEL	NUL	NUL	Ctrl+G	Ctrl+G	ALT+007	ALT+007
08H	BS	Backspace	Backspace	Ctrl+H	Ctrl+H	ALT+008	ALT+008
09H	HT	TAB	TAB	TAB	Ctrl+I	ALT+009	ALT+009
0AH	LF	NUL	Enter	Ctrl+J	Ctrl+J	ALT+010	ALT+010
0BH	VT	TAB	TAB	Ctrl+K	Ctrl+K	ALT+011	ALT+011
0CH	FF	NUL	NUL	Ctrl+L	Ctrl+L	ALT+012	ALT+012
0DH	CR	Enter	Enter	Enter	Ctrl+M	Enter	ALT+013
0EH	SO	NUL	NUL	Ctrl+N	Ctrl+N	ALT+014	ALT+014
0FH	SI	NUL	NUL	Ctrl+O	Ctrl+O	ALT+015	ALT+015

10H-1FH

HEX	CODE	* 構成 0/3	Config1/4	Config2/5 Windows
10H	DLE	NUL	Ctrl+P	ALT+016
11H	DC1	NUL	Ctrl+Q	ALT+017
12H	DC2	NUL	Ctrl+R	ALT+018
13H	DC3	NUL	Ctrl+S	ALT+019
14H	DC4	NUL	Ctrl+T	ALT+020
15H	NAK	NUL	Ctrl+U	ALT+021
16H	SYN	NUL	Ctrl+V	ALT+022
17H	ETB	NUL	Ctrl+W	ALT+023
18H	CAN	NUL	Ctrl+X	ALT+024
19H	EM	NUL	Ctrl+Y	ALT+025
1AH	SUB	NUL	Ctrl+Z	ALT+026
1BH	ESC	ESC	Ctrl+[	ALT+027
1CH	FS	NUL	Ctrl+\	ALT+028
1DH	GS	NUL	Ctrl+]	ALT+029
1EH	RS	NUL	Ctrl+^	ALT+030
1FH	US	NUL	Ctrl+-	ALT+031

注釈

Mac システムでは、Ctrl キーは Command キーに対応します。

ASCII 文字比較表

20H-5FH

HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	ASCII
20H	Space	30H	0	40H	@	50H	P
21H	!	31H	1	41H	A	51H	Q
22H	"	32H	2	42H	B	52H	R
23H	#	33H	3	43H	C	53H	S
24H	\$	34H	4	44H	D	54H	T
25H	%	35H	5	45H	E	55H	U
26H	&	36H	6	46H	F	56H	V
27H	'	37H	7	47H	G	57H	W
28H	(	38H	8	48H	H	58H	X
29H	)	39H	9	49H	I	59H	Y
2AH	*	3AH	:	4AH	J	5AH	Z
2BH	+	3BH	;	4BH	K	5BH	[
2CH	,	3CH	<	4CH	L	5CH	\
2DH	-	3DH	=	4DH	M	5DH	]
2EH	.	3EH	>	4EH	N	5EH	^
2FH	/	3FH	?	4FH	O	5FH	_

60H-9DH

HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	Fun Key	HEX	Fun Key
60H	`	70H	p	80H	F1	90H	End
61H	a	71H	q	81H	F2	91H	Page Down
62H	b	72H	r	82H	F3	92H	Right Arrow
63H	c	73H	s	83H	F4	93H	Left Arrow
64H	d	74H	t	84H	F5	94H	Down Arrow
65H	e	75H	u	85H	F6	95H	Up Arrow
66H	f	76H	v	86H	F7	96H	Print Screen
67H	g	77H	w	87H	F8	97H	*Ctrl
68H	h	78H	x	88H	F9	98H	* シフト
69H	i	79H	y	89H	F10	99H	* 左 Alt
6AH	j	7AH	z	8AH	F11	9AH	* 右 Alt
6BH	k	7BH	{	8BH	F12	9BH	1s Delay
6CH	l	7CH		8CH	Insert	9CH	*Win-GUI
6DH	m	7DH	}	8DH	Home	9DH	* キーストローク
6EH	n	7EH	~	8EH	Page Up		
6FH	o	7FH	DEL	8FH	Delete		

 注釈

Ctrl、Shift、Alt、GUI をプレフィックスまたはサフィックスとして設定すると、次の文字と組み合わせて出力されます (ALT、TH キーボードに設定した場合はサポートされません)。キーストローク後の文字がそのままキー値として出力されます。